

福島県議会議員

佐藤てつや　誰もが誇れる“ふるさと”の創造

“佐藤てつや”はこれからも、皆様の抱えているお悩みごとをひとつひとつ解決するべく、精進して参ります。

これからも変わらぬご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

節分が終わり、いよいよ春の到来を待ちわびる頃となりましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。

元日に発生した令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様や被災地にご家族やご友人がおられる方々に、心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地にて救助や復興支援活動にご尽力されている方々には深く敬意を表します。この度の地震を受けて、県民の皆様の生命と財産を守るべく、防災・減災対策に万全を期さなければならないと、県議会最大会派である自民党福島県連の一員として、改めて肝に銘じた次第です。被災地域の皆様の安心と安全、そして日常の生活が一日でも早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年12月の県議会定例会において、計10問の一般質問をさせていただきました。今回は、その中から4つの質問についてご紹介します。ぜひご一読ください。


学生と意見交換を行った時の様子




農林水産委員として視察を行った時の様子


県議会で質問者として登壇した時の様子

福島県議会における佐藤てつやの質問と解説

先端技術の社会実装について

Q 先端技術の社会実装をより一層進めていくに当たっては、県民が抵抗感なく製品を購入し、使用できるようにするため、その安全性や利便性への理解を深め、先端技術に慣れ親しんでもらうことが重要であると考えます。そこで、**成長産業における先端技術の社会実装に向けた普及啓発にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。**

A 先日開催された「ロボット航空宇宙フェスタ」において空飛ぶ車の実機を展示し、来場した子ども達に実際に触れていただくと共に、プログラミング学習用ロボットを若い世代に操作していただくなど、先端技術を体験する機会を提供してまいりました。今後とも先端技術を体験する機会を通じて普及啓発に取り組んで参ります。

Point! てつやの解説

内堀知事に答弁いただいた質問です。
私が子どものころに夢物語であった空飛ぶ車や自動車の自動運転について現実のものになりつつあります。先端技術の社会実装により地域課題が解決され、誰もが豊かな生活を送ることができる未来を望みます。

困難を抱える高校生の支援について

Q 県教育委員会は、個に応じた支援を推進していく学校を指定し、外部機関との連携強化やケース会議等を行っていると伺っておりますが、困難を抱える生徒への対応は容易ではなく、相談相手もいない孤立した生徒一人一人により寄り添った対応が必要であると考えます。そこで、**県教育委員会は、様々な困難を抱える高校生の支援にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。**

A 県では困難を抱える高校生の支援について、自由に学び活動できる居場所を個別支援教育推進校9校に開設いたしました。今後他校についても個々の生徒の課題に応じて関係機関と情報を共有しながら一人一人の支援にしっかり取り組んで参ります。

Point! てつやの解説

近年、児童・生徒の抱える問題が多岐にわたっており、自分の力だけでは解決できない困難を抱えた児童・生徒は増える傾向にあり、文部科学省が公表した資料※によると、不登校児童生徒が10年連続増加し、過去最多となっています。このような中、特に高校生は、人間関係や進路選択等、多くの悩みを抱える複雑、多感な時期であり、高校生への支援は極めて重要と考えます。

※参照：「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

若年層の投票率の向上について

Q 先日行われた福島県議会議員選挙の確定投票率は、40.73%で、過去最低だった4年前の投票率を更に0.95ポイント下げる残念な結果となりました。今回の県議会議員選挙の年代別投票率は、10代が25.94%、20代が19.78%と低いものでした。そこで、**県選挙管理委員会は、若年層の投票率の向上にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。**

A 選挙啓発サポーター制度を創設し、若者や企業等との連携・協働により、選挙啓発活動や投票に参加しやすい環境の整備を推進し、投票参加の呼び掛け等の取り組みを積極的に展開することで若年層の一層の投票率向上に努めて参ります。

Point! てつやの解説

私の事務所にはインターンシップの大学生をはじめ、私の娘の同級生や後輩など、若者が多数出入りしており投票率向上に向けた若者の意見を直接いただくことが出来ました。「マイナンバーを活用すればネット投票が可能ではないか」、「学校内に投票所を設置すれば投票率は上がるのではないか」といった意見が出されるなど、課題はあっても「身近な投票所の設置」への対応や、投票の重要性と一票の大切さをわかりやすく、魅力的に発信していくことも必要と考えます。

公共土木工事におけるDXの推進について

Q 進展するデジタル技術は公共土木工事の分野でも活用が期待できます。そこで、**県は、公共土木工事におけるDXの推進にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。**

A ICT活用のモデル工事について、工事金額等の要件を緩和し、対象を拡大して実施するほか、国等関係機関と連携し、受発注者を対象にデジタル技術の習得に関する講習会等の機会を幅広く設けるなど、DXの推進に積極的に取り組んで参ります。

Point! てつやの解説

今後も激甚化・頻発化する豪雨災害や大規模な地震災害に備え、河川や道路の整備を進める必要があるため、国の取組を参考にデジタル技術を積極的に活用しながら、効率よくインフラ整備に取り組むことが重要と考えます。

その他の質問
- DXの推進について
- 私立学校への支援について
- 市町村と連携した移住施策について
- フレイル予防について
- 文化財等を活用した観光誘客について

佐藤てつやプロフィール

昭和43年4月19日生まれ。



郡山市鶴見坦出身
郡山市立薫小学校卒業
郡山市立郡山第一中学校卒業
福島県立郡山高等学校卒業
工学院大学専門学校夜間部建築科研究課程卒業

- 趣味／音楽・演劇鑑賞、スポーツ観戦、キャンプ
- 特徴／身長180cm、常にパワー全開！元気一番！妻、ネコ3匹と暮らしている。

平成18年	郡山市立薫小学校 父母と教師の会会長（平成22年まで）
平成21年	郡山市PTA連合会副会長
平成23年	郡山市立郡山第一中学校PTA会長
平成23年	郡山市議会議員（連続3期）
平成26年	福島県立安積黎明高等学校PTA会長
令和４年	福島県議会議員（2期目）

〈所属委員会〉
◆農林水産委員会（副委員長）
◆少子高齢化・地域活性化対策特別委員会

皆さんの声、ぜひお聞かせください！
佐藤てつや事務所
〒963-8862 郡山市菜根三丁目39-7
E-mail:sugar503@cameo.plala.or.jp
TEL.024-934-2585
FAX.024-926-0943
X（旧Twitter） @satotetsuya963
Instagram @satotetsuya963
SNSで情報を発信しています！